

保護者の皆様へ

平成 28 年 4 月 2 日
社会福祉法人高田幼児
幼保連携型認定こども園ひかり
園長 天笠昌明

お子様が明るく元気に育ちますように・・・

本日は、お子様の御入園・御進級おめでとうございます。

今日から皆様と一緒に通う お子様が明るく元気に育つよう、共に頑張っていきたいと思います。当園は、開園して6年目。平成27年度より「子ども子育て新制度」がスタートし、幼保連携型認定こども園(学校および児童福祉施設)になりました。

質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供していきたいと思っております。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領 総則には、**環境を通して行う教育及び保育**が基本であると書かれております。それは、安心感と信頼感を持って活動に取り組む。園児の主体的な活動を促し、乳幼児期にふさわしい生活を展開。遊びを通しての指導を中心。

(遊びは園児にとって重要な学習) 園児一人一人の特性や発達の過程に応じること。

と書かれております。

乳幼児期には**非認知能力(学びに向かう力や姿勢)**を育てる事が大切です。

幼児期の狭い知的教育の効果は一時的なものに過ぎず長続きしないことが明らかになり、認知能力の土台になる非認知能力が注目されています。

「**心情・意欲・態度**」を大切に、**子どもの主体的な学び**を伸ばしていく事が大事だと考え、集団の中で「異年齢児保育」「コーナー保育」「1日1時間以上の外遊び」など「**遊びの中の学び**」を重視しております。子ども達が伸び伸びと明るく過ごし、心身ともに成長出来る様、子どもたちの持っている個性を引き出し良い方向へ成長出来る様、見守り援助します。子どもは好きな事をしている時は、目が輝き伸び伸びし集中もしています。好きな事を十分に出来る時間を確保してあげる様 配慮します。

子ども達が園に来るのが楽しいと思えるような教育(保育)を日々心掛けていきます。

家庭に於いても、「**基本的な生活習慣の確立と情緒の安定**」が一番重要です。

その為には「**家庭の保育(親子の愛着・しつけ)**」が大切です。それが上手いかないと、園でいくら頑張っても成長しません。まず家庭が安定し、家庭と園とが相互努力し、信頼関係を作る事で、子どもたちは伸びていく事を十分理解して頂きたいと思っております。

平成28年度の重点目標をご理解頂き、ご家庭と園のそれぞれの役割をしっかりと果たし、明るく元気なお子様を育てることに一緒に努力していきたいと思っております。

〈教育理念〉 「共育と貢献」

地域に愛されて、地域と育つ学校施設、地域の心の砦を目指します。

1. 教育目標

家庭との連携の下に「子どもが生きるために必要な力を育てる」ことを目指し、次の様な3つの目標を掲げて日常の保育指導を行う。

丈夫で元気な子・・・身体的な「元気」だけでなく、心の安定も図る。健康で元気である事は、子供を取り巻く人々や自然環境も健康で元気である必要がある。

よく考え、自分で行動する子・・・遊びを通してルールを守る。我慢するなどの社会性・協調性をみにつけ、豊かな感性、好奇心や探究心をもった子ども、つまり「自律」した子供の姿である。

温かく 思いやりの ある子・・・人との関わりを大切にしたいという思いから生まれた目標。友達を大切に出来るという事は、自分が大切にされているという自己肯定感が必要。

2. 平成28年度 重点目標

◎遊びの中の学びを大切にする。

- ・コーナー保育における遊びの充実
- ・異年齢での関わりを大切にする。

◎戸外で十分身体を動かし、丈夫な身体作りを目指す。

◎年齢に応じた望ましい基本的生活習慣が見につくように努める。

- ・光・暗闇・外遊び(早寝早起きの習慣)(別紙参考)
- ・朝の挨拶「おはようございます」帰りの挨拶「さようなら」
- ・名前を呼ばれたら「はい」の返事
- ・出した物は元の場所に片づけをする
- ・話す人の目を見て良く話を聞く
- ・はきもの揃え(みさと運動の推進)(別紙参考)

◎自分の思いを言葉で表現できる子が育つように、保育者・親がこどもの言葉によく耳を傾ける。

- ・こども園で行った活動・様子について、本人の口から聞けるようにする。
- ・「てつなぎこみち」で親子で触れ合おう(別紙参考)

◎園と家庭とが連携して図書の貸し出し・絵本の読み聞かせを推進する。

3. 平成28年度の実践

① 1日1時間以上の外遊び

天気のいい日には1日1時間の外遊びをし、ケガをしにくい丈夫な身体作り・体力、運動能力の向上を目指します。泥だらけになって遊んで、服が汚れる事もあるかと思いますが、いっぱい遊んで来たのだと理解して、大変ですが洗濯をお願い致します。

② 園庭改造

子ども達がもっと大胆に遊び込める様な「園庭改造」に取り組んでいます。今年度は3期工事、改めて業者と職員・保護者の説明会から始めたいと思います。

③ 複数担任・チーム保育

複数の担任で見る事で、子どもに対する視野を広げ、保育教諭同士も共通理解しながら幅広い教育を行います。コーナー保育の充実も図ります。

④ 職員の研修

質の高い教育・保育を実践するために、各種研修に積極的に参加します。園内研修は、年3回(6月11月2月)、公開保育(10月13日)申し訳ないのですが、降園時間の短縮に協力をお願いします。

⑤ 行事について

子ども達は、いろいろな行事を経験して成長していきます。運動会・遠足・発表会等いろいろな経験をさせたいと思います。また、会津美里町の行事には積極的に協力していきたいと思います。(あやめ祭り・鼓笛パレード・文化祭等)行事は、皆さんが参加しやすい土曜日に設定しております。

⑥ 個別懇談・保育参観・保育参加

お子様の様子をお伝えする、皆様の御意見を取り入れるために、5月(年長児全員・年長以外は希望者)11月(年長以外全員)に個別懇談、6月と11月に保育参観を行います。子ども達の園での様子や保育教諭の仕事を体験して頂くために6月(以上児新入園児保護者)10月(未満児保護者)に保護者の保育体験を行います。また希望者には、給食の試食も行います。

⑦ 絵本の貸し出し

毎週、木・金曜日に絵本の貸し出しをしています。

⑧ 小学校との連携

就学に向けてスムーズに行くよう、小学校との連携も図ります。

⑨ 児童館との連携

当法人の職員を派遣している児童館・児童クラブ館との連携

⑩ 子育て支援

未就園児対象のつくしんぼクラブの充実。育児相談(水曜日)も行います。

⑪ ホームページ

ホームページで園の様子をお伝え致します。

(平成27年度「認定こども園ひかり」の実践と評価)

(1) 園庭(運動)遊びの充実

- ・毎日1時間以上園庭遊びの時間を設けて体力作りに取り組み、コーナー保育に園庭遊びも加えました。
- ・園庭環境作り~園庭改造第2弾 バタフライガーデン~10月24日親子で園庭造り作業を行いました。親子・職員で行ったことで、愛着が生まれました。
第1弾のどろんこ砂場・ガチャポンプも喜んで遊んでいます。



- ・園庭遊びを推進している園の見学研修(宮城県 みどりの森こども園)
5月26日(4名)・6月16日(4名)



(2) 絵本の読み聞かせの推進

- 園と家庭とが連携して絵本の貸し出し・読み聞かせをし、楽しさを親子で共有。
バーコードシステムの採用。絵本便りの発行
絵本作家 サトシン氏を招いて、絵本ライブ(11月14日)



(3) 親育て、親教育

- ・保育講演会の実施~
6月『豊かな子育てのために』
~子どもを見つめる目~
認定こども園ポプラの木



園長 岡村宣 氏

11月『幼児期の生活に大切な事』

岩手県立大学 社会福祉学部

准教授 井上孝之 氏



・保育参加・個別懇談会の実施

・お父ちゃん・お母ちゃんの会の活動
(ハンカチ作り・販売・ダンス発表)



◎職員の資質向上

・園内研修 4月『保育に使える造形』

造形作家

丸林佐和子 氏

6月『丘を越えていこう』 (幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説)

認定こども園ポプラの木

園長

岡村 宣 氏

8月『会津美里町の保育の向上を目指して』

会津美里町教育委員会教育長

佐治和則 氏

10月・2月 保育指導

宮城学院女子大学 教授

磯部裕子 氏

11月『気になる子どもの理解と支援』(演習)

岩手県立大学

社会福祉学部准教授

井上孝之 氏



・園外研修

5月施設見学(宮城県 みどりの森こども園) (4名参加)

6月施設見学(宮城県 みどりの森こども園) (4名参加)

6月みなみ若葉研究発表会 (2名参加)

(国立教育政策所 教育課程研究センター指定校事業)

6月山形大学附属幼稚園公開研究協議会 (2名参加)

「幼児期に育てたい言葉」~子どもの姿から言葉の育ちを探る~

お茶の水女子大学名誉教授 内田伸子 氏の講演

10月上越教育大学附属幼稚園第23回幼児教育研究会(4名参加)

「遊び込む子ども」~学びの基盤に着目して~

東京大学大学院教育学研究科 教授 秋田喜代美氏の講演

11月全国認定こども園協会東北地区研修(山形) (3名参加)

国立教育政策研究所 総括研究官 掘越紀香 氏の講演

「保育者の資質向上をめざす」～小学校教育とのつながりから～

9月・2月全国認定こども園協会 園長・副園長ステップアップ研修会 I・II

2日間7講座 神長美津子 氏(國學院大學教授)

汐見稔幸 氏(白梅学園大学学長)ほか

◎ その他、全職員が各種研修に参加して、資質向上を図りました。

- ・公開保育 7月 町内幼保小に案内を配布、保育を見て頂き、午後から協議会。自分たちの保育を見直す、いい機会になりました。



評価

◎今年度の重点目標を職員間で確認し、27年度取り組んでまいりました。着実に、施設環境の整備や職員の資質向上が図れたと思います。保護者からの評判(アンケートの結果)も概ね合格点を頂きました。昨年同様、大きなケガ・事故等も現在のところ無いので、安心しています。引き続き、気を引き締めて教育・保育にあたりたいと思います。

◎各種研修会で学んだ、子どもたちの自主的な遊び・学びを大切にする教育(アクティブラーニング)を実践出来る様、指導していきたいと思います。指示待ちの子ではなく、指示がなくても動ける子の育成に努めていきたいです。

職員一同、さらに研鑽を積みながら教育・保育にあたってまいりますので、よろしくお願い致します。

◎園長・副園長・主幹保育教諭、指導保育教諭、ベテランから若手の保育教諭、看護師、栄養士、事務員、用務員、熱意あるスタッフが揃っております。子育てや園の教育について分からない事、疑問な事等ございましたら遠慮なく申し出て下さい。また不満な点などあれば、直接園長・副園長・主幹保育教諭までお聞かせください。